

平成 16 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

2 重点経常研究

(2) 「最終処分場の廃止に向けた安定度判定に関する研究」(継続課題)

[総合評価とコメント]

最低限のターゲットはどこに置くかを明確にした方がいい。数多くのデータが得られ、また得られる予定であり、十分時間をかけた解析が望まれる。いくつかの測定方法も検討しているとのことであり、こちらも期待したい。

社会的に非常に重要な課題だと思います。研究の年度が終了した後も、何らかの形で課題を設定して研究を続けて欲しいと思います。

着実にデータが得られていることは評価したい。発表の中で、いろいろな仮説の紹介があったが、データ自身も重要だが、仮設を確かめ研究成果に繋げて欲しい。

国立環境研究所との共同研究は、いろいろな面で苦労もあるかと思いますが、密に連絡をとるなどしてうまく進めていただくようお願いしたい。

それぞれ状況の異なる現地での調査のため、統一的知見を導くことは容易でないと思いますが、これまでに興味深いデータが得られていると思います。新たに行うボーリング調査の結果をうまく活用して、「安定度判定」のための調査手法に新たな方向性が示されるよう期待します。

現場からしか得られない貴重なデータが集積されている。

17年度予定のボーリング調査、国環研との共研を通じ、一定の方向性が見出せることを期待します。

多数のフィールドデータを実際の処分場で積み上げてきた意義は大きい。これをまとめて総論へ導いて欲しい。

現場での精密な測定と簡便な測定を併行して実施し、幅のあるなかでの簡便法の有用性を示せればとも考える。

(数値的評価)

評価者 6 名(一部の項目は 5 名)

| < 評価の内容 > | < 評価項目 > | < ランク > | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|--------|--------|---------|
| 計画の立案と実施法 | 研究内容 | 5 (5 人) | 4 (1 人) | 3(0 人) | 2(0 人) | 1 (0 人) |
| | 計画の妥当性 | 5 (3 人) | 4 (3 人) | 3(0 人) | 2(0 人) | 1 (0 人) |
| 研究の進捗状況 | 進捗状況 | 5 (5 人) | 4 (1 人) | 3(0 人) | 2(0 人) | 1 (0 人) |

ランクは、5 点満点の評価で 5(優)～1(劣)